

令和7年度 第4回 多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 要点記録

- 1 日時：令和8年1月27日（火）午後6時から午後7時15分
- 2 場所：多摩市役所 特別会議室
- 3 出席委員：中庭委員長、米山副委員長、飯島委員、鳶田委員、佐伯委員、佐藤委員
- 4 欠席委員：小川委員
- 5 議事内容：以下のとおり

■開会

1 報告書（案）について

委員長 本委員会は今回で最終回である。本日は、これまでの協議結果を踏まえて作成された「多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に向けた報告書（案）」の内容を確認し、意見交換を行いたい。

まずは、事務局から前半部分について資料の説明をお願いする。

事務局 事務局から、資料2に基づき、報告書（案）の前半部分について説明を行った。

委員長 では、委員の皆様からご意見をいただきたい。

副委員長 人口の現状・将来の見通しに関して、7ページの将来展望人口と、10ページの直近の人口推計に関する記載が重複していて、少しわかりづらいかもしれない。

事務局 7ページでは、第六次多摩市総合計画で前提としている「将来展望人口」について説明している。この「将来展望人口」は、当該計画の策定時（令和5年11月）においては平成30年社人研推計が最新であった。その後、令和5年の社人研推計が公表された。その最新の内容を10ページに「直近の人口推計」として記載している。このことにつき、わかりやすくなるよう追記したい。

委員 11ページの出生率の記載について、多摩市の出生率の低下は隣の八王子市と僅差であり、ほとんど変わらない。合計特殊出生率は、出生時の所在地が基準になっている。実際は多摩市で出生届を出していないが、出生後に多摩市に転入をする人も一定数いると思う。

事務局 総務省の住民基本台帳人口移動報告における2020年から2024年の0歳～4歳児人口（実質増減数）を参照すると、2020年は54人増、2021年は5人減、2022年は174人増、2023年は119人増、2024年は143人増となっている。これらのデータも追記したい。

委員長 他にご意見等はあるか。特になければ後半部分について事務局から説明をお願いする。

事務局 事務局から、資料2に基づき、報告書（案）の後半部分について説明を行った。

委員 22ページの「基本目標③ まちの魅力づくりと発信」について、「魅力の発信」は対外向けの記載が多いと思うが、市民に向けて発信する観点があってもよいのではないか。

事務局 市民向けの発信については、(4)「まちの愛着心の醸成、まちづくり活動の支援と魅力発信」にも部分的に含まれていると考えているが、市民に向けた発信をするこ

とも追記できればと思う。

副委員長 20 ページ「基本目標① くらしの基盤づくり」の(4)「住環境・交通利便性の向上」に関し、自動運転バスを前提としているが、現状では実証実験から実装まではハードルが高いと考える。

委員 現在の記載では、「実証実験に取り組む」と記載しているため、違和感はないとも思うが、少し記載を調整できると良いのではないか。

委員 22 ページ「基本目標② ビジネスの基盤づくり」の(1)「事業者間のネットワーク強化」に関し、記載内容が2つとも似ているように思えるがいかがか。

委員長 確かに似ているが、1つ目はソーシャルキャピタルの側面が大きい「顔の見える関係づくり」を進めること、2つ目は、そのためにどのような手段で提供していくかということに記載していると思う。そのような理解で違和感はないか。

委員 一般の方から見て違和感がなければ、問題ないと思う。

委員 22 ページ「基本目標② ビジネスの基盤づくり」の(3)「次世代につなぐ都市づくり」に関し、リニア開業の記載に「聖蹟桜ヶ丘駅」は直結しないと思われる。記載の工夫が必要かと思う。

委員長 例えば「聖蹟桜ヶ丘や、リニア開業を見据え多摩センター・永山周辺地区の活性化ともに」などと修正してはどうか。

委員 聖蹟桜ヶ丘駅、多摩センター駅、永山駅周辺の活性化に関して記載があるが、唐木田駅に関する記載がないのが気になる。

事務局 都市計画マスタープランでは、聖蹟桜ヶ丘駅、多摩センター駅、永山駅周辺地区を「都市拠点」、唐木田駅を「地域拠点」と位置付けている。こうしたことから、本報告書では3駅のみ記載している状況である。

委員 唐木田駅は、尾根幹線道路に面しており、今後の変動が大きいのではないか。

副委員長 事務局から説明のあったとおり、駅周辺の活性化の部分に記載に入れるのは難しいかもしれない。尾根幹線道路の関連で記載するのはどうか。

事務局 記載に関しては、都市計画部門にも確認させていただきたい。なお、検討の結果、記載が難しい場合には、参考資料の「委員会からの主な意見」として記載することとしたい。

委員長 では、確認の上で対応をお願いします。

委員 21 ページの(2)「基本目標② ビジネスの基盤づくり」の(2)「新技術・サービスの実装に向けた実証実験の拡充」について、「実証実験」と「トライ&エラー」は意味が重なっていると思う。

事務局 確かにそのとおりである。「トライ&エラー」の文言を削除させていただく。

委員長 委員の皆様のおかげで、ここまで報告書を練り上げることができた。

本委員会では、国の「地方創生 2.0」を参考に検討を進めてきたが、この間にも政権交代もあり、現在では「地域未来戦略」となっている。今後も国の動きは変化し続けると思うが、現在多摩市が抱えている地域課題について検討した本報告書の価値が下がるものではないと思う。その点、皆様にもご了解いただきたい。

それでは、次第の「2 その他」へ移りたい。事務局から連絡事項はあるか。

2 その他

事務局

まずは、これまで4回にわたりご議論いただいたこと感謝を申し上げたい。

今後、本日の協議結果を報告書に反映した上で、委員の皆様を確認をいただくことを予定している。その後、報告書の内容を決定した上で、3月に市長への報告会を行いたいと考えている。

委員長

これまでの議論でこのような報告書を作ることができたのは、委員の皆様の真摯な対応のおかげである。委員長として感謝申し上げたい。

では、本日の委員会を終了する。

■閉会